

[illegible][illegible]

五十四

十三

高人の書
 皆自心出
 妙不可言
 此書乃心之
 妙不可言
 未白兩酒

南陽先生文集卷之五

城守の御書

お前守の御書

お前守の御書

お前守の御書

お前守の御書

お前守の御書

お前守の御書

お前守の御書

江

竹石

此乃陸稼書之書

と金にうたふ人
てな歌はうたふ人

此乃王右軍之草書也
 其筆勢如龍蛇之走
 其字體如雲霞之舒
 其氣象如江海之流
 其神韻如風雨之驟
 其骨力如金石之堅
 其神采如日月之明
 其氣貫注如貫珠之連
 其意蘊藉如含露之華
 其情流露如噴雪之噴
 其法自然如造化之機
 其理深邃如玄之又玄
 其趣無窮如海之無涯
 其美無匹如天之無雙
 其妙不可言如神乎其技
 其不可及如天之不可及
 其不可學如天之不可學
 其不可及如天之不可及
 其不可學如天之不可學

白子とて食はるゝものなりと云ふ

子
 之
 中
 有
 外
 在
 之
 事
 也

七

今より世をなす
所の南無

待西風

新詩集

竹竿乃石
竹竿乃石
竹竿乃石
竹竿乃石
竹竿乃石
竹竿乃石
竹竿乃石
竹竿乃石

中夜而興

書

牛有
王彦

[illegible]

お流し用入上子付お流し用入区
流し用入上子付保不区名実
とお流し用入上子付

大和役等 三月 通 在 病 家
三月 七日
例 困 人 上

[illegible]

此の書は、
手記の如きものなり。其の
方角、
三月廿三日

追記

此の書は、

此の書は、

三月廿三日

十三日

此の書は、
手記の如きものなり。其の
方角、
三月廿三日

此の書は、
手記の如きものなり。其の
方角、
三月廿三日

此の書は、
手記の如きものなり。其の
方角、
三月廿三日

此の書は、
手記の如きものなり。其の
方角、
三月廿三日

此の書は、
手記の如きものなり。其の
方角、
三月廿三日

此の書は、
手記の如きものなり。其の
方角、
三月廿三日

此の書は、
手記の如きものなり。其の
方角、
三月廿三日

此の書は、
手記の如きものなり。其の
方角、
三月廿三日

此の書は、
手記の如きものなり。其の
方角、
三月廿三日

一 陽春三月 陽春三月 陽春三月

一 陽春三月 陽春三月 陽春三月

一 陽春三月 陽春三月 陽春三月

一 陽春三月 陽春三月 陽春三月

一 陽春三月 陽春三月 陽春三月

一 陽春三月 陽春三月 陽春三月

一 陽春三月 陽春三月 陽春三月

一 陽春三月 陽春三月 陽春三月

一 陽春三月 陽春三月 陽春三月

一 陽春三月 陽春三月 陽春三月

一 陽春三月 陽春三月 陽春三月

一 陽春三月 陽春三月 陽春三月

一 陽春三月 陽春三月 陽春三月

一 幸ふはあはれ

一 月うんちの情

一 ちりちりあふ ちりちりあふ ちりちりあふ

一 ちりちりあふ ちりちりあふ ちりちりあふ

一 ちりちりあふ ちりちりあふ ちりちりあふ

一 ちりちりあふ ちりちりあふ ちりちりあふ

一 ちりちりあふ ちりちりあふ ちりちりあふ

一 ちりちりあふ ちりちりあふ ちりちりあふ

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

[illegible]

是を以て、此の如く所は、
此の如く、此の如く、
此の如く、此の如く、

行樂圖

從心從身
即
第
第
第
第
第
第
第
第

[illegible]

晦日

十三

一
一
一
唐人詩中
竹園之竹
今長江口
竹園之竹

別冊各々あり
なりきりて
文書付

上越教育大学附属図書館



F81192303